

第2回 AEEN Workshop

テーマ “Small Talk について”

2018年7月31日（火） 旭川市立愛宕小学校

◆Small Talk とは

行事や長期休暇の思い出など、児童が興味・関心のある身近な話題について、自分自身の考えや気持ちを楽しみながら伝え合う中で、**既習表現を繰り返し使用する機会を保障し、その定着を図る**ために行うものである。

◆Small Talk の目的

- ・指導者によるまとまった話を聞いて（内容が）わかる。
- ・（指導者が用いた表現を）使えるようになる。
- ・その場で質問に答えられるようになる。
- ・既習表現を繰り返し使用できるようにしてその定着を図ること。
- ・対話の続け方を指導すること。

◆対話を続けるための基本的な表現

対話の開始	対話の始めの挨拶 Hello. /How are you?/I'm good. How are you?など
繰り返し	相手の話した内容の中心となる語や文を繰り返して確かめる 相手：I went to Tokyo. 自分：(You went to)Tokyo.など
一言感想	相手の話した内容に対して自分の感想を簡単に述べ、内容を理解していることを伝える。 That's good./That's nice./Really?/That's sounds good.
確かめ	相手の話した内容が聞き取れなかった場合に再度の発話を促す Pardon?/Once more, please.など
さらに質問	相手の話した内容について詳しく知るために、内容に関わる質問をする 相手：I like fruits. 自分：What fruits do you like?など
対話の終了	対話の終わりの挨拶 Nice talking to you./You, too.など

◆Small Talk のポイント

- ・話題を提供すると会話がしやすくなる。(Ex. What did you do last weekend?)
- ・既習事項を何度も使わせる。
- ・Small Talk の指導計画を考える。少しずつ会話のレベルをあげる。

(Ex. 1時間目：I get up at 6:00. 2時間目：I usually get up at 6:00. 3時間目：What time did you get up?など)

- ・Small Talk の型を見せる。→教師が会話の例を見せる。
- ・手順が大切①Input ②Intake ③Output
→Intake が忘れがち。必ず学習した内容が使えるように活動の前に練習させることが大切。